

祝 町政施行50周年記念



第35号

発行 伊仙町議会

〒891-8293

大島郡伊仙町伊仙1842

事務局 ☎ (0997) 86-3111

編集 議会広報編集委員会

印刷 (有)奄美新生社印刷

伊仙町議会だより



夏の暑さを吹き飛ばすほど、元気いっぱいの子供たち。待ちにまったプール遊びで思わず笑顔がこぼれます。(写真提供：幸徳保育園 様)

目 次

平成24年度伊仙町議会先進地研修報告・議会中継のご案内…………… P2～P3

平成24年第2回定例議会議決結果・請願、陳情、発議結果・第3回臨時会議決結果 … P 4

第2回定例議会一般質問通告書一覧・「養護学校分校設置について」要望書提出 … P 5～P 7

道路・水路の維持管理のお願い(耕地課)・暑中見舞い 他 …………… P 8～P 9

道路整備(伊仙～検福工区)の要望書提出・議会議員報酬10%カット・編集後記 … P 11

平成24年度 伊仙町議会先進地研修報告

平成24年度の先進地研修が、去る5月14日～15日の2日間の日程で行われ、研修先として曾於市・鹿屋市を中心に議員全員並びに事務局職員あわせて16名で研修を行いました。

（農業生産額向上を目指して）

まず初日の研修は、農業分野の先進地として曾於市大崎町の農業法人3件を研修致しました。大崎町の農業の特徴として、二毛作が主流であり年間を通して野菜等の生産並びに出荷を行っていました。また、出荷先の関東・関西地方の中央市場と取引を行っており、1件目の農業法人（有）水幸農園さんでは、主に大根やキャベツを主力商品として販売しており、年間億単位の売り上げが見込まれている状況でありました。そ

の後、同じく農業法人（有）大崎農園さんも訪問いたしました。こちらも同じく野菜等の出荷が主流で、安定的な出荷量を保持するため、農作業のマニュアル化を行い、生産工程管理や作業時間管理の徹底を行うことで、生産性の向上に努めているとのことでした。

次に研修した先は、マンガを主力商品として生産・販売している安田農園株式会社さん。この会社の基本理念として「大地」を大切にし、環境保全型農業にも積極的に取り組んでいます。またこの安田農園さんでは、大崎町で生産された園芸作物や加工品の直販売を行うため、直売所を開店し、販路拡大を行って経営の安定化を図っていました。ちなみに年間の売上高は約1億3千万円で、うち3割

は花卉類が占めていました。以上3件を初日に研修致しましたが、3社共通して言えることは、作物の命である土づくり（定期的な土壌分析、土中生物の多様化促進）や、独自で生産した作物の付加価値と工夫を行い、さらに優れた農家を視察するなど常に前向きな姿勢が農業で高収益をあげている要因だと感じました。



▶脱サラして始めた農業で、今では年間数億円もの収益を上げている農業法人の代表（右側）。1から農業を学び、今後は農業を通じて担い手となる人材育成も積極的に行っていくとのこと。（大崎町 大崎農園）

◀珍しい鉢植え式のマンゴー栽培。鉢の中にパイプを通して、水分や栄養分を補給し、大型のポイラーでハウス内の温度管理まで行っていました。（大崎町 安田農園ハウス内）



研修2日目は、早朝に鹿屋市串良町上小原にある（有）上別府種畜場を訪問し、本町農業の基幹である畜産分野について、県内の市場動向を踏まえつつ同種畜場の上別府和美社長よりご教示頂きました。ここでは、徳之島から出荷される繁殖用や肥育用の子牛が、全国の消費者ニーズに対応し、かつ粗飼料を給餌させることで購買者としてはコスト

のかからない肉用牛の確保ができる貴重な市場の1つとして注目されているとのことでした。

（行政に頼らない自立した集落づくりについて）

（有）上別府種畜場を研修後、同じく串良町上小原の柳谷集落、通称やねだんを研修いたしました。

この集落は、日本で一番注目されている集落であり、年間来客数は数万人にも上るとのこと、日に換算すると1年中視察研修を目的とした各種団体や行政関係の方々が訪れていることとなります。

この柳谷集落について私たち一行にご教示頂いたのは、集落の自治会長である豊重哲郎氏。豊重氏は昭和46年に同集落へUターンしてから今日まで同集落の自立に向けて尽力された方であり、同集落に到着後、驚かされたのは、研修会に先立ち合同記念写真を撮るよう促され、少し困惑しな



集落の核拠点である公民館の玄関先には、自立に向けた標語が飾られていました。(鹿屋市串良町上小原柳谷集落公民館前)



やねだん集落の概要を、芸術家が作成した地図を見ながら説明する豊重哲郎氏(柳谷集落自治会長)。

がら記念撮影に応じましたが、その写真は日付と名前入りで現像されて、研修会終了後にそのカメラマンの生活費(うち1割は集落の収入)になる旨の説明があり、出席者一同快く購入致しました。

研修会の内容としては、行政に頼らない集落づくりが主な内容であり、一番心に響いたのは、「感動」という言葉でした。人を動かすのは言葉ではなく、心であり、常に集落住民の心を揺さぶることを心掛けているとのことでした。実際、集落では父の日・母の日等各

記念日にはテーマを設けて集落の学生さんに集落放送を通して手紙を読んでもらい、住民が感動することによりさらに絆を深めていっているとのこと。また、絆を深めつつ人材育成も積極的にを行い、常に次代のリーダー育成を行っていました。また集落の自立にはインターナーの受け入れが重要であり、柳谷集落では芸術家のインターナー者を積極的に受け入れ、その芸術家の才能を集落の収入源とし、かつ集落の活性化を生み出しているとのこと。

2日間にわたって研修してきましたが、まだまだ伊仙町には足りない所、また改めて伊仙町には素晴らしいものがあることも気づかされた研修となりました。私たち議会は、今までの先進地研修で学んだ知識を最大限に活かしつつ、明るい町づくりに向けて町行政と議会がお互い切磋琢磨しながら更なる町政発展に向けて尽力していきたいと考えます。

～「議会中継」インターネットで随時配信中～

ご視聴ありがとうございます。

おかげさまで、通算8,300アクセスを突破。町民の皆様をはじめ、町内外からお寄せいただいたご意見やご要望、また納めた税金がどのように使われているのか、すべてが議会中継で視聴できます。議会中継の放送時間は、議会開会中は生放送を行っており、生放送が視聴できない方の為の録画配信は、「24時間いつでも」インターネット環境が整っているお手持ちのパソコン、またはスマートフォンから視聴可能です。

ご覧になられたことがない方は、ぜひこの機会にご覧いただきますようご案内致します。

アクセス方法

伊仙町公式HPをアクセス→伊仙町公式HP内の左にあるアイコンをアクセスすれば視聴可能です。

アクセス後USTREAMのサイトへ移行します。

議会中継
Ustreamサイトへ

連絡先

伊仙町議会事務局(花山, 佐平)

TEL: 0997-86-3111 (内16) FAX: 0997-86-2301

住所: 〒891-8293 鹿児島県大島郡伊仙町大字伊仙1842番地

平成24年第2回定例議会議決結果一覧（会期6/18～20）

番 号	議 案 等	採決結果
報告第2号	平成23年度伊仙町一般会計繰越明許費繰越計算書	報 告
同意第4号	伊仙町名誉町民の選定について	同 意
同意第5号	伊仙町名誉町民の選定について	同 意
議案第31号	伊仙町暴力団排除条例の制定	原案可決
議案第32号	伊仙町希少野生動植物の保護に関する条例の制定	原案可決
議案第33号	伊仙町職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第34号	伊仙町技能・労務職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第35号	印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第36号	伊仙町税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第37号	伊仙町生活館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第38号	伊仙町敬老年金支給条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第39号	伊仙町過疎地域自立促進市町村計画の一部変更	可 決
議案第40号	奄美群島広域事務組合理約の変更	可 決
議案第41号	平成24年度伊仙町一般会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第42号	平成24年度伊仙町介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第43号	平成24年度徳之島交流ひろば「ほーらい館」特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第44号	平成24年度伊仙町簡易水道特別会計補正予算（第2号）	原案可決
	以下余白	

平成24年第2回定例議会請願・陳情・発議結果一覧

番 号	件 名	採決結果
陳情第3号	陸上空母離着陸訓練施設の馬毛島への移設反対を求める陳情書	採 択
陳情第4号	少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書採択の要請についての陳情書	採 択
陳情第5号	航空防除に関する陳情書	継続審査
請願第2号	高齢者の肺炎球菌ワクチン接種の補助を求める請願について	採 択
発議第3号	米軍陸上空母離着陸訓練施設の馬毛島への移設反対を求める意見書	原案可決
発議第4号	少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書	原案可決
発議第5号	伊仙町議会議員の報酬の特例に関する条例の制定	原案可決
	以下余白	

平成24年第3回臨時議会議決結果一覧（会期7/13）

番 号	議 案 等	採決結果
議案第45号	平成24年度伊仙町一般会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第46号	平成24年度伊仙町都市公園等統合事業 義名山体育館増築工事建築1工区請負契約について	可 決
	以下余白	

平成24年 第2回定例会

一般質問



福留議員

問 Aコープ誘致に関する具体的な内容について。

答 JAの中においては、平成24年度から3カ年計画の中で、建設を考えているというお話を伺っております。JAあまみの理事会や、徳之島の総代会ににおいては既に決定され、今月末に行われるJAあまみ総代会において承認されると、Aコープ会社等が現地調査に入るものだと思います。

問 誘致に関しては、賛成・反対様々な意見があると思います。私とし

ほしい。私はその様に考えますが、町としてはどのように対応なさるつもりなのか。

答 Aコープ等の大型店舗が来た場合、現在の小売店舗の状況をどうしたらいいのかを考えてみた場合、今現在の小売店舗の顧客は、それほどかわらないと思います。これまで亀津の大型店舗に買い物に行っていた人たちが、伊仙のAコープに来ると考えたらいいと思います。ただ、小売り店舗の方々も、もっとと危機感を持って、そして努力していけば、逆に多くの人たちが行きかうことになるわけですから、個性のある店や、店主に魅力を感じて来店客が増加することもあるはずです。このことを一つの契機として魅力があり、住みたいと思わせるような町づくりを行っていききたいと思います。

ては、大きな視点から見れば間違いはなく、むしろ大歓迎すべきことなので、町を挙げて協力していただきたいと思えます。確かにこれまで商店を営んできた方にとっては、想像もつかないほどの脅威を感じ、反対する気持ちは十分に反響していつまでも反対ばかりしていいのかなと素朴に感じたりもしております。住民に利用してもらってこその方々でありますから、住民のことももう少し考えて、営業努力をしていただきたいと思えます。商品単価、営業時間、サービスの向上等々いくらでも改善の余地はあると思えます。大型店舗が来ることによるマイナスイ面ばかりを恐れずに、前向きにチャンスだと捉えて

問 活性化の一環として、葬儀場やシルバー人

材派遣センター等の設立や誘致など、自分たちの町でできることはなるべく自分たちの町で行い、自分たちの町、伊仙に人や金、あるいは雇用の場の創出、そういった手段の一つとして例えましたが、他に何か考えているものがあれば伺いたい。

答 葬儀場に関しては、伊仙町の現在の高齢者人口を考えますと、あと10年以上は現在のような推移でお亡くなりになる方は継続するわけですので、JAや町外の大手葬儀会社に要望はしております。今後、伊仙町の人たちが恩恵を受けられるような政策をとっていかなければならないと思っています。シルバー人材派遣センターに関しては、他町にいくつもあります。運営等に関しては町の負担が相当増えてきております。伊仙町内において、NPO 2011の方々が現在、立ち上げに積極的に取り組んでおります。アンケート調

査の途中経過をお聞きしたところ、9割以上の方が立ち上げに賛成とのことでありました。シルバーセンターを利用、あるいは雇用の場としたいと考えている方が相当数いらっしゃるといふことだと捉えております。今後、前向きに検討してまいりたいとおもいます。

問 伊仙町財政の現状を考えると、どうしても必要なものは別として、新たな箱物を造るといったことは誰もためらうところではありません。そこで、新たに葬儀場の建設といったことではなく、ほーらい館ホールの有効活用の観点から、従来のイベント場としての活用と並行して、葬儀場としての活用ができないものか考えることがありません。素晴らしいホールがあるにも関わらず、常時有効活用されていないことや、人を弔うことは厳粛で尊厳なことでもありますが、凝り固まった考え方だけじゃ

も必要なのは別として、新たな箱物を造るといったことは誰もためらうところではありません。そこで、新たに葬儀場の建設といったことではなく、ほーらい館ホールの有効活用の観点から、従来のイベント場としての活用と並行して、葬儀場としての活用ができないものか考えることがありません。素晴らしいホールがあるにも関わらず、常時有効活用されていないことや、人を弔うことは厳粛で尊厳なことでもありますが、凝り固まった考え方だけじゃ



伊仙町での各種イベントや協議会等で利用されているほーらい館の「癒ていなホール」。このホールの利用率の向上が施設を運営するにあたって重要な課題となっている。

なくて、利用できるものは
 ほとんど利用して活性化し、
 住みよい町にしたい。見解は、
 たいと思えますが、見解は。

答

以前から提案があり
 ましたが、健康増進
 施設で葬儀ということが、
 感覚的になかなか馴染めな
 いとのことで却下された経
 緯があります。しかし、全
 国的にみましても、道の駅
 等での法事や葬儀というこ
 ともありますので、ほーら
 い館の有効活用という観点
 から、それはそれで割り切
 って行うということも可能
 ではないかと思えます。

答

農業関係につきま
 しては、いろんな

望にあった堆肥の製造
 販売や成分分析等を行い、
 良質良品の製造指導を町
 は審議規則に沿って行っ
 ているのか。また、でき
 あがった堆肥の品評会や、
 それを利用した土壌で出
 来た作物の品評会をする
 ことよって、土づくり
 がより推進されると考え
 るが、町長の見解は。

問

農政について、大久
 保町長は農業所得



琉議員

の基本は土づくりである
 と、伊仙町堆肥センタ
 ーを活力ある民間委託をさ
 れ、堆肥の生産奨励に大き
 く取り組まれております
 が、具体的にその土地、土
 壌に適合した堆肥、作物品
 種に合った堆肥、農家の要

問

堆肥と液肥について、
 液肥は夏場や乾期の

提案を頂きました。品評会
 等、農家の要望に合った堆
 肥をどうするのか。まず土
 づくりは、土壌分析が基本
 と考えております。農家に、
 自分の畑を知ってもらおう目
 的で、平成22年度は111
 件、平成23年度は220件、
 今年度は6月現在102件、
 内容もPH以外に主要元素
 5項目を検査し、農家のた
 めの説明会を行い、理解を
 していただくことが土づく
 りの原則ではないかと考え、
 作業を進めているところで
 ございます。

かん水対策として活用が多
 いが、液肥の成分分析や品
 質向上、施設の老朽化の問
 題等を含め、農業所得をあ
 げるためにも、今後これら
 が重要課題だと思えますの
 で、この有機物供給センタ
 ーの本来の機能活用と、施
 設規模の拡大による液肥の
 増産による農業所得向上策
 に努める計画等はないもの

答

まず第一点目に、品
 質向上、その後、量

か。
 の処理、また農業団体、関
 係機関等の組織整備を今年
 度中に整理をしたなかで、
 有機物供給センターをどの
 ようにしていくのか、三町
 の農政担当とも協議をしな
 がら、島全体の発展という
 大きな視点、視野に立つて
 考えていきたいと思えます。

問

環境衛生関係と自然
 エネルギーについて、

各集落のごみステーション
 のごみの分別とマナー、ご
 みステーションや広域ごみ
 処理場の管理状況はどのよ
 うになっているのか。また
 全国的にも取り組まれてい
 るエネルギー問題で、本町
 において太陽光発電、ドー
 ラーシステム導入を公共施
 設や一般家庭等、設置する
 場合に助成する考えはない
 のか。

答

ごみ収集委託業務に
 ついては、成果は以

前よりは良くなっておりま

問

商工会の取り組みに
 ついて、伊仙町の経

す。しかし、ごみステーションのごみ分別のマナーは
 まだまだ守れない方が各集
 落に見受けられます。今後、
 集落座談会等で指導や協力
 をお願いし、集落担当職員
 等の協力を得ながら、美し
 い町づくりに一層努力して
 いきたいと考えます。また、
 ソーラーシステム導入に関
 しても、現在公共施設への
 導入は、校舎新築に伴い、
 伊仙小学校に導入致しまし
 た。世界自然遺産登録を目
 指すとともに、小規模校に
 も太陽光発電設置を検討し
 ていきたいと考えます。

済の活性化には、伊仙町中
 央商店街の活性化なくして発
 展はありません。中央商店
 街を組織する商工会の取り
 組み、商工会の事業として
 第11条に「社会一般の福祉
 の増進に資する事業を行う
 こと」とありますが、町は
 商工会の福祉事業の計画や
 事業推進についてそのよう



伊仙町中央商店街に、企業誘致の成果として新たにオープンすることとなった奄美大島信用金庫伊仙支店。町内の経済活性化の起爆剤になることが期待される。(伊仙支店完成図提供：奄美大島信用金庫)

答

高齢者等への買い物支援や、商工会スタ

な助言をし、福祉事業への助成の考えはあるのか。
 プンブ会による町内学校への商品券の助成、プランターの寄贈、夏祭りをはじめとする各種イベントへの参加、ボランティア清掃活動等を実施している状況でありま
 す。また福祉事業そのもの
 に対する助成については、

現在の商工会の財政状況では難しいところですが、町と連携しながら商工会においても福祉事業の推進をしていくよう意見交換をし、行政といたしましては、若手商工会会員を中心に、自ら組織の再生計画、前向きかつ建設的な事業に対しては、町としても助成していきたいと思えます。

「鹿児島県立徳之島農業高等学校跡地に大島養護学校分校の設置について」の要望書を再度提出



平成24年4月に就任された、六反省一鹿児島県新教育長へ要望書を提出。

致しました。

議員大会において要望書を提出して丸一年が経過しましたが、県当局や教育委員会部局の特段の配慮を賜り、平成25年度から鹿児島県立徳之島高校に訪問教育に近い養護学校の分教室が開設されることとなり、永

昨年5月に開催された奄美群島市町村議会議員大会において、全会一致で可決された「鹿児島県立徳之島農業高等学校跡地に大島養護学校分校の設置について」の要望書が、平成23年鹿児島県議会第3回定例会で継続審査となっていることから、改めて要望書を六反省一鹿児島県新教育長へ提出

年関係者が訴え続けてきた目標に一步前進することができました。しかしながら、離島での更なる特別支援教育の充実やこの思いが過性のものにならないよう改めて特別支援教育の必要性を六反新教育長並びに県教育委員会の方々へ強調してお願い致しました。このことについて六反新教育長か

ら「従来、このような要望を承ると町当局と議会側の意見が多少食い違うこともあるが、今回の件は、町当局と議会が連携して、何とか特別支援教育の充実を訴えて、障がいを持たれている子供たちや家族の絆の大切さを感じることができました。今後は、平成25年度から徳之島高校でスタートする分教室での成果を踏まえたうえで、分校設置については慎重に検討していきたい」と述べられました。
 議会としては、今後も県や特別支援教育の現状を注視し、障がいを持たれている子供たち、または子供たちを支援しておられる関係者に夢と希望を持っていただけるよう継続して要望活動を行っていきたく考えます。

道路・水路の維持管理のお願い

今年も、梅雨時期に水路のゴミ詰まりから、道路や農地の流されました。緊急性のある場所から順次対応をしておりますが、日頃からご自分の畑の周りの維持管理をしていただければ防げる災害が多いですので、台風時期に向けて町民のご協力をよろしくお願いいたします。



○赤土流出状況



○水路にゴミが詰まって水が農地に流れ出している状況



町民の皆様へ

暑中お見舞い申し上げます。

伊仙町議会

議長常 隆之 副議長 伊藤 一弘

総務文教厚生常任委員会 経済建設常任委員会

委員長 琉 理人 委員長 清水 善政男

副委員長 前 徹志 副委員長 永岡 良一

委員 上木 勲 委員 美鳥 盛秀

” 杉並 廣規 ” 樺山 一

” 福留 達也 ” 明石 秀雄

” 永田 誠 ” 佐藤 隆志

議会事務局

事務局長 梶山 正二 書記 佐平 勝秀



最近、町内はもとより徳之島三カ町のごみ分別をはじめとする、ごみ出しルール違反が多くなっています。特に、資源ごみや産業廃棄物の不法投棄など、あらゆる最低限のマナーが守られていない状況にあり、現在クリーンセンターでは、ごみの分別を職員が手分けして行っているため、ごみ処理に関する時間とコストが大幅に上がっている状況であります。特に、ごみの分別等のご家庭で分別されることが最低限のルールであり、なかなか守られていないことが残念でなりません。この徳之島は、奄美・琉球列島のひとつであり、世界自然遺産登録に向けて現在進行中であります。ひとりひとりの心がけが、環境美化につながり、おのずと世界自然遺産に近づいてくるものだと確信いたしております。つきましては、下記事項を改めて見直して頂き、町民の皆様がルールを遵守されますようお願い申し上げます。

※ゴミ収集場所

- ◎収集日以外はゴミをださないでください。
(きちんと分別して午前8時30分までに出しましょう。)
- ◎危険物、産業廃棄物は収集できません。
(産業廃棄物は産業廃棄物処理業者へ)
- ◎指定ゴミ袋を使用して下さい。
- ◎事業ゴミ・営業ゴミは出せません。
(家庭ゴミに限ります。)



※ごみ分別

- ◎もえるゴミ (毎週水曜、土曜日) 指定ゴミ袋 (青色)
- ◎もえないゴミ (毎月第2, 4火曜日) 指定ゴミ袋 (ピンク色)
- ◎資源ゴミ (毎月第2, 4金曜日) 指定ゴミ袋 (黄色)
- ◎混ぜるとごみ、分けると資源



▲収集場所の美化にも配慮した町内某集落のゴミステーション。



▲燃えるゴミの日にも関わらず、あらゆるルール違反が多い某集落ゴミステーション。このような違反箇所については、集落民全員で対応する必要があります。

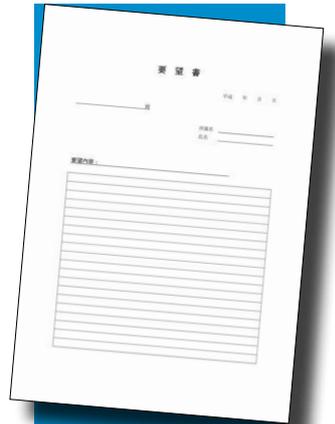




県議会議長あてに要望書提出
(鹿児島県議会議長室)



県知事あてに要望書を提出
(鹿児島県土木課会議室)



県道80号線伊仙亀津徳之島空港線 (伊仙く検福工区) 道路整備の要望書を鹿児島県知事・ 鹿児島県議会議長 へ提出

平成24年第1回伊仙町議会定例会に提出された「伊仙町中央通り会道路拡幅に関する請願書（提出者・伊仙町中央通り会）」の採択を踏まえ、去る平成24年5月16日に鹿児島県庁と鹿児島県議会議員全員で訪問し、県知事並びに県議会議長あてに「県道80号線伊仙亀津徳之島空港線（伊仙く検福工区）道路整備に関する要望書」を提出致しました。また、当日は公務多忙な折、県当局との連絡調整を快く引き受けて下さった、禧久伸一郎県議と大久保明町長にもご同行頂きました。

この要望書について（詳細は下記参照）、県土木課の回答として「当初計画されていた県道拡幅に関する工事が、県の緊縮財政により片側歩道を余儀なくされ、住民の皆様には多大な迷惑をお掛けしております。しかしながら、今後の財政状況、各地の道路に関する現状を精査していますが、即住民の皆様のご要望にお応えできないことを心苦しく思っており、今一度検討させて頂きたいと思えます」と述べるに留まりました。

今回の要望活動では、前向きな回答を得られませんでした。したが、議会といたしましては、町民のために安全で安心して暮らせる町づくり、また経済活性化のために重要なインフラ整備を緊縮財政のなかでも知恵を出し合い、町当局と連携して今後も要望活動を継続していきたいと思えます。

現在伊仙町は、ほーらい館・百菜を中心に人々が集まる場所として注目されています。新たに奄美信用金庫、Aコープの誘致、徳之島地域文化情報発信施設建設も予定され、さらに人々の往来が増えることが予想されます。

また、特殊出生率日本一の町、長寿日本一の町、もてなしの町として、さらなる発展を目指すためには、県道80号線伊仙亀津徳之島空港線拡幅工事は、絶対に必要となります。

今、伊仙町は大きく変わりがつつあります。この機運をさらに盛り上げるためにも平成24年度以降も、当初計画のとおり早期に整備を進めていただきますよう、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

要望書

鹿児島県知事

伊藤 祐一郎 殿

鹿児島県議会議長

金子 万寿夫 殿

平成24年5月16日

鹿児島県大島郡伊仙町伊仙1842番地

伊仙町議会議長 常 隆之

県道80号線伊仙亀津徳之島空港線（伊仙く検福工区）道路整備について

貴職におかれましては、県政発展、とりわけ離島振興につきましては、特段のご配慮を賜り、深く感謝申し上げます。

現在伊仙町は、ほーらい館・百菜を中心に人々が集

伊仙町議会 議員の報酬



最終本会議において原案可決した文書を大久保町長へ直接手渡す永岡良一議員（提出者）。

「伊仙町
議会議員
の報酬の
特例に関
する条
例」

伊仙町議
会議員の議
員報酬を
平成24年7
月から平成
25年3月ま

で、一律10%カットとした議員発議が最終本会議において提出され、全会一致で原案可決されました。

今回の報酬カットについては、今後起債償還をはじめとする厳しい行政運営が予想されるなかで、特別職や職員給与カットがなされており、議会としても厳しい状況を乗り越え、財政健全化に寄与するため提案した次第であります。

町民の皆様におかれましても、消費税増税や扶養控除の廃止等に伴う各種税の値上がり等で年次的に家計へのご負担を強いられ、益々厳しくなることが予想されますが、議会といたしましては町執行部へ財政再建に向けてのあらゆる提言を行いますので、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

議会のうごき

平成24年4月

- 6日 町内各小学校・中学校入学式（町内） 議員全員
- 7日 第45回戦艦大和を旗艦とする特攻艦隊戦没将士慰霊祭（犬田布岬） 議員全員
- 12日 議長・事務局長合同会（奄美市） 議長・事務局長
- 17日 第2回伊仙町議会臨時会告示
- 19日 第2回伊仙町議会臨時会（本会議場） 議員全員
- 20日 伊藤知事を励ます会（鹿児島市） 議長
- 21日 中部徳洲会
- 21日 関西伊仙中部会・面縄校区合同総会（名古屋市・大阪市） 副議長
- 25日 徳之島地域文化情報発信施設地鎮祭（東目手久闘牛場） 議員全員
- 26日 奄美選出県議会議員・市町村長・議会議長意見交換会（鹿児島市） 議長
- 27日 平成24年度県政説明会（鹿児島市） 議長

平成24年5月

- 11日 議会広報編集委員会（6月号）（議会委員会室） 議長・広報編集委員5名
- 14日 平成24年度伊仙町議会先進地研修 知事へ要望書提出・議員研修会（曾於市 鹿屋市 鹿児島市） 議員全員
- 17日 徳之島地区防犯組合連絡協議会総会（徳之島警察署） 議長
- 21日 伊仙町商工会通常総会（南大島農業共済組合） 議長
- 23日 第55回奄美群島市町村議会議員大会（瀬戸内町） 議員全員

平成24年6月

- 12日 平成24年度奄美群島広域事務組合議会 第1回臨時会 他（奄美市） 議長
- 12日 第2回定例会告示
- 12日 議会運営委員会（議会委員会室） 議長、議会運営委員5名、事務局
- 18日 第20回伊仙町議会定例会（本会議場） 議員全員
- 28日 平成24年度奄美・やんばる広域圏交流推進協議会総会・視察研修（沖縄県伊江村・那覇市） 議長

※ 掲載されている行事以外にも、各種協議会及び集落行事等にも出席しておりますが、予めご了承下さい。

編集 後記

毎日暑い日が続きますがいかがお過ごしでしょうか。農家の皆様におかれましては、さとうきびの管理作業も一段落されたことと思います。また、これからはごまや落花生、しょうがなどの管理・収穫作業と忙しい日は続くかと思われませんが、健康には十分留意して下さい。

本誌でもご紹介いたしました。私たちが議会は5月15日に鹿児島県鹿屋市内の柳谷集落（やねだん）を視察研修致しました。そこはひとりひとりが主役となり、行政に頼らない自立した集落作りに取り組んでいる地域でありました。「私がやらなければ」という考えを全員が持つていて、様々な行事等の企画をし、参加していました。

本町においても、町の財政がきびしいなか、自分たちもできることから始めようという考えのもと、6月議会では議会議員の報酬削減を行い、財政の健全化に向けて具体的に動き始めました。

町民の皆様も、それぞれの立場で権利を主張し、義務を果たしていただき、ともに日本一のまち伊仙町を創っていきましょう。

また10月に行われます「伊仙町町制施行50周年記念式典と徳之島地域文化情報発信施設の柿おとし（こけらおとし）」には、全国各地の郷友会の皆様が来町して、伊仙町町制50周年を祝って下さり、今後の伊仙町にも期待をされていると思います。

最後に、今後も町民、行政、議会が一丸となって取り組み、町政が益々発展することをお祈りして編集後記といたします。

（文責 永岡 良一）

議会広報編集委員会	
委員長	琉 理人
副委員長	清水喜以男
委員	永岡 良一
委員	前 徹志
委員	伊藤 一弘

伊仙町町制施行50周年記念式典 徳之島地域文化情報発信施設柿落とし



長寿・子宝・もてなしの町
いせんから世界へ発信!



◆ 伊仙町町制施行 50 周年記念式典

10/27
SAT (土)

- ・式典：午後2時より
- ・祝賀会：午後5時より
- (場所/伊仙町総合体育館)



◆ 徳之島地域文化情報発信施設柿落とし

10/28
SUN (日)

- ・式典：午前10時より
- ・闘牛大会：午後1時より
- (場所/旧東目手久闘牛場)



【お問い合わせ】 鹿児島県 伊仙町企画課 ☎0997-86-3111 (代)
★公式サイト / www.town.isen.kagoshima.jp

写真提供：興村健治氏、中村正弘氏、スタジオイカブチ様、海軍 野良、徳島県民会